令和2年第2回美幌町議会定例会会議録

令和2年3月30日 開会

令和2年3月30日 閉会

令和2年3月30日 第全号

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
(諸般の報告)
日程第 3 議案第 24 号 令和 2 年度美幌町一般会計補正予算 (第 1 号) について

○出席議員

1 番	戸 澤 義 典 君	2 番	稲 垣 淳 一 君
3 番	大 江 道 男 君	4 番	高 橋 秀 明 君
5 番	木 村 利 昭 君	6 番	伊 藤 伸 司 君
7 番	馬 場 博 美 君	8 番	古 舘 繁 夫 君
9 番	藤 原 公 一 君	10 番	坂 田 美 栄 子 君
副議長 11 番	岡 本 美 代 子 君	12 番	上 杉 晃 央 君
13 番	松 浦 和 浩 君	議長 14 番	大 原 昇 君

○欠席議員

なし

○地方自治法第 121 条第 1 項の規定による出席説明員

美 幌 町 長	平 野 浩 司 君	教 育 委 員 会 長	矢 萩 浩 君
監 査 委 員	高 木 清 君	教 育 委 員 会 長	

○地方自治法第 121 条第 1 項の規定による出席受任説明員

副 町 長	高 崎 利 明 君	総 務 部 長	小 室 保 男 君
民 生 部 長	那 須 清 二 君	経 済 部 長	石 澤 憲 君
建 設 水 道 部 長	川 原 武 志 君	病 院 事 務 長	但 馬 憲 司 君
会 計 管 理 者	武 田 孝 司 君	総 務 主 幹	関 弘 法 君
防 災 危 機 管 理 主 幹	河 端 勲 君	ま ち づ く り 主 幹	田 中 三 智 雄 君
政 策 主 幹	後 藤 秀 人 君	財 務 主 幹	中 尾 亘 君
契 約 財 産 主 幹	大 場 正 規 君	税 務 主 幹	片 平 英 樹 君
環 境 生 活 主 幹	渡 辺 靖 行 君	児 童 支 援 主 幹	小 室 秀 隆 君
福 祉 主 幹	影 山 俊 幸 君	健 康 推 進 主 幹	大 場 圭 子 君
農 政 主 幹	佐々木 斉 君	み ら い 農 業 セ ン タ ー 主 幹	午 来 博 君
耕 地 林 務 主 幹	中 沢 浩 喜 君	商 工 観 光 主 幹	多 田 敏 明 君
施 設 管 理 主 幹	以 頭 隆 志 君	建 築 主 幹	西 俊 男 君
水 道 主 幹	御 田 順 司 君	病 院 総 務 主 幹	菅 敏 郎 君
地 域 医 療 連 携 主 幹	高 山 吉 春 君	教 育 部 長	田 村 圭 一 君
監 査 委 員 室 長	谷 川 明 弘 君		

○議会事務局出席者

事 務 局 長	遠 國 求 君	次 長	佐 藤 和 恵 君

議 事 係 長 鶴 田 雅 規 君 議 事 係 新 田 麻 美 君

午前10時00分 開会

◎開会・開議宣告

○議長（大原 昇君） おはようございます。

ただいまの出席議員は14名であります。

定足数に達しておりますので、令和2年第2回美幌町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（大原 昇君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、7番馬場博美さん、8番古館繁夫さんを指名します。

◎日程第2 会期の決定

○議長（大原 昇君） 日程第2 会期の決定についてを議題とします。

去る3月26日、議会運営委員会を開きましたので、委員長から報告を求めます。

12番上杉晃央さん。

○12番（上杉晃央君）〔登壇〕 令和2年第2回美幌町議会臨時会の開会に当たり、去る3月26日、議会運営委員会を開催しましたので、その内容と結果について報告いたします。

本臨時会に付議された案件は、議案1件であります。

以上の内容でありますので、本臨時会の会期については本日1日限りといたします。

慎重なる審議に皆さんの協力をお願いするとともに、行政職員の皆さんには真摯な答弁と対応をお願いし、議会運営委員会委員長としての報告といたします。

○議長（大原 昇君） お諮りします。

ただいま、議会運営委員会委員長から報告のあったとおり、本臨時会の会期を1日

間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大原 昇君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は1日間と決定しました。

◎諸般の報告

○議長（大原 昇君） 諸般の報告を行います。

諸般の報告については、事務局長から報告させます。

○事務局長（遠國 求君） 諸般の報告を申し上げます。

本日の会議につきましては、お手元に配付しております議事日程のとおりであります。朗読については省略させていただきます。

次に、地方自治法第121条第1項の規定に基づく出席説明員につきましても、印刷したものを配付しておりますので御了承願います。

また、本臨時会中、町広報及び議会広報のための写真撮影を行いますので御了承願います。

なお、報道機関の写真撮影及びパソコンの使用を許可しておりますので、あわせて御承知おき願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

◎提出案件の概要説明

○議長（大原 昇君） 町長から、本臨時会に提出しております案件について、概要説明をしたいとの申し出がありますので、発言を許します。

町長。

○町長（平野浩司君）〔登壇〕 本日、ここに令和2年第2回美幌町議会臨時会が開催されるに当たり、御出席を賜りました議員各位に対しまして心から感謝いたします

とともに、提出案件の概要について御説明申し上げます。

令和2年度一般会計補正予算について。

令和2年度一般会計補正予算（第1号）につきましては、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている事業者の皆様のご経営安定化を図るため、新型コロナウイルス緊急対策利子等補給事業補助金として、798万7,000円の追加を行おうとするものであります。

なお、細部につきましては、後ほど御説明申し上げますので、御審議の上、原案に御協賛を賜りますようお願い申し上げます。提出案件の概要説明といたします。

以上、よろしくようお願い申し上げます。

◎日程第3 議案第24号

○議長（大原 昇君） 日程第3 議案第24号令和2年度美幌町一般会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

直ちに提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（小室保男君） 議案書の3ページになります。

議案第24号令和2年度美幌町一般会計補正予算（第1号）について御説明を申し上げます。

令和2年度美幌町の一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ798万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ140億6,029万7,000円とする。

第2項につきましては、事項別明細書により御説明をいたします。

歳出から御説明を申し上げますので、議案書の12ページ、13ページをお開き願います。

7款商工費、1項、2目商工業振興費、1、商工業振興推進事業費の増、補助金、新型コロナウイルス緊急対策利子等補給事

業補助金798万7,000円の追加であります。

今回、新たに創設する補助金につきましては、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている事業者の経営安定化を図るため、運転資金を借り入れる事業者に対しまして、借入利子及び信用保証料につきまして町が補助しようとするものでございます。

事業の概要につきましては、後ほど経済部長より御説明を申し上げます。

次に、歳入につきまして御説明をいたしますので、議案書の10ページ、11ページをお開き願います。

20款、1項、1目財政調整基金繰入金、財政調整基金繰入金の増、798万7,000円は、今回の補正予算に係る財源といたしまして、財政調整基金からの繰り入れを行うものでございます。

なお、参考資料の1ページに補正後の年度末基金予定残高を掲載してございますので御参照いただければと思います。

それでは、事業の概要につきまして、経済部長より御説明を申し上げます。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） 私からは、お手元にお配りしております美幌町新型コロナウイルス緊急対策利子等補給事業補助金の御案内というA4両面のチラシに基づきまして、制度概要につきまして御説明をさせていただきます。

本事業は、新型コロナウイルスで経営に影響を受けたことにより生じた町内事業者の新たな運転資金の借入れに対し、町が償還利子及び信用保証料の一部を補助し、事業所の維持、継続、さらなる発展を促すことを目的とするものでございます。

なお、利子等補給事業補助金の御案内の文字の下に記載の括弧内にありますとおり、本事業は町が直接融資を行うという制度ではございません。

初めに、対象者であります。町内に独

立した事業所を有する小規模事業者であること。

この小規模事業者の定義であります、中小企業基本法に基づき、常時使用する従業員の数が、卸売業、小売業、サービス業であれば5名以下、製造業、その他の場合は20名以下の事業所が該当することになります。

その他、町税の滞納がないこと。

美幌町暴力団の排除の推進に関する条例に定める暴力団に関係していないことも対象要件となっております。

次に、主な要件であります、対象事業者が新型コロナウイルス感染症の流行による影響を受け、令和2年2月18日以降、①として、直近1カ月の売上げが前年同月比5%以上減少したこと。

②として、今後2カ月を含む3カ月間の売上げ見込みの平均が前年同期比5%以上減少することが見込まれること。

これらのいずれにも該当し、指定金融機関から借り入れた新たな運転資金であることが要件となります。

なお、創業1年未満の事業者につきましては、これらと同等の客観的な資料の提出を要件としております。

また、この運転資金については借り換えではないこと、手形または証書による貸付けであることとしており、この手形貸付けにつきましては、新型コロナウイルスに対応した保証制度を利用したものに限っております。

対象となる期間につきましては、令和2年2月18日から令和2年12月29日までに融資が実行されたもので、指定金融機関または美幌商工会議所を通じて町に報告のあったものとしております。

次に、補助の内容であります、これらの要件を満たした借り入れに対し、融資を受けた日から最長5年間、償還利子と信用保証料の合計が1事業者につき累計20万円に達するまでの期間補助することといた

します。

なお、指定金融機関と新型コロナウイルスに関する経営相談窓口につきましては記載のとおりでございます。

次に、裏面をごらんいただきたいと思えます。

御利用例として掲載してございます。

これは指定金融機関から金利が2%、保証料が0.75%、借入期間が7年で据え置き1年とした場合の利用例でございます。

例えば、利用例1であれば、100万円を借り入れして、1年目が利子と保証料合わせて2万4,125円であり、2年目が2万2,597円となっていく、以降5年間で利子と保証料の累計が9万4,516円になり、補助限度額の20万円を超えないため5年間は全額補助となります。

利用例2であれば、総額300万円で、1年目が7万2,375円、2年目が6万7,792円となり、累計額が4年目に限度額20万円に達しますので、おおよそ3年間の補助となります。

このような形で最長5年間、20万円に達するまでの補助をしようとするものでございます。

なお、補正予算額798万7,000円につきましては、借入額100万円の一括返済分として10件、100万円の割賦返済分として100件、300万円の割賦返済分として70件、500万円と700万円の割賦返済分として10件ずつを見込んで計上したものでございます。

以上、御説明申し上げました。

よろしく願いいたします。

○議長（大原 昇君） これから質疑を行います。

1 番 戸澤義典さん。

○1番（戸澤義典君） 政府の緊急対応策としまして、無利子、無担保の融資制度というのが17日から始まっていると思いますが、その中でセーフティネット保証5号というのがありまして、5%以上減少した

企業を対象に借入金の80%を保証する制度と承知しておりますが、政府が同じような対応策をやっている中で、町独自で同じような施策をやるということが余り理解できないものですから、政府のやろうとしている対策と町がやろうとしている対策が、どこがどう違って、町としてこういう対策をとったという部分が理解できないものですから、そこら辺を詳しく説明していただければと思います。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） ただいまの御質問にお答えいたします。

無利子、無保証が政府の対策にありますけれども、多くが日本政策金融公庫の融資を受けなければなりません。

日本政策金融公庫は、本町にはありませんので、北見市まで融資に出かけなければならないということで、実際に事業者は町内のいつも融資を利用している、あるいは利用しているメインバンク、金融機関のほうに相談に行くという実態もございますので、理由といたしましては、わざわざ北見市まで出向いて、一から事業所の内容を説明して借りるとということが煩わしいという面もございますので、そういう意味から多くの選択肢といえますか、そのようなことができるように、町内の金融機関からの融資も対象として、今回、利子補給の補助金を計上させていただいたものでございます。

○議長（大原 昇君） 1番戸澤義典さん。

○1番（戸澤義典君） 場所の面で不便だという認識でいいのか、中身が同じであれば、苦しい事業者は美幌町であろうが、北見市であろうが多分行くと思うのです。

北見市にわざわざ行くのが不便だからということで、800万円近い予算を使って本当に国と同じことやっていいのか、やるべきなのか。

それであれば、もっと違う施策に使った

ほうがいいのではないかと私はそう思うのですけれども、ただ本当に北見市に行くのが煩わしいから美幌町で同じようなことをやる、本当にそれだけなのでしょう。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） 今回のこの制度の創設に当たりましては、各金融機関及び商工会議所を含めまして、数度、制度設計をして、協議をしてまとめ上げたものでございます。

その中で出た意見としては、やはり町内の金融機関、ふだん使っている金融機関に相談も行きますし、実際に、そのような形で融資の申し込みを実行されることが多いということでも御意見を承っておりますので、それらのことも考慮して、それらも含めて、今回の対策としてまとめ上げたものでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（大原 昇君） 1番戸澤義典さん。

○1番（戸澤義典君） 3回目ですから、これでやめますけれども、町の事業者の方にいろいろ意見を聞いてやったというのは当然のことだと思います。

その中で、美幌町が便利だから美幌町でぜひ借りたい。それは当然わかります。

でも、本当に政策が同じだったら、わざわざ800万円の税金使って、もっとほかにやるべきことがいっぱいあるのではないかと私は思ひます。国がやろうとする制度上の違いというのは本当はないのでしょうか。

そこら辺をもう1回だけ確認します。

○議長（大原 昇君） 町長。

○町長（平野浩司君） 今回提案させていただくこの制度は、今戸澤議員から、これよりもほかにやることあるのではないかとということも言われております。

まず御理解いただきたいのは、この制度をつくったからこれで経済的なものは終わりという考えは持っておりません。

本当に申しわけないですが、皆様に提案する時期が遅過ぎるのではないかと考えております。

ですから、いろいろな経済政策をしなければいけない中の一つとして、今回まずは提案させていただいたということでありませ

ず。国が無保証、それから無利子で貸すという制度を示しました。その中で、実際に今までそういう制度があるとしても、日常的に関わっているのは地元の金融機関がしっかりとそれぞれのお店に関わっていると思っております。

そういった中で、いろいろ協議をさせていただいた中において、全て地元が関わらないで、今後、国が政策的に全部無利子だから北見市まで行って、誘導することがいかなものかという話も金融機関にさせていただきました。

実際には国の制度がまだ確立されない場合について私も相談を受けて、まずはふだんお付き合いしているところに行って相談してくださいという話をして、そういうことを含めると、確かに国の制度としてそこに全部誘導すればいいのでしょうか、地元として関わってこられた、それぞれの金融機関と、それからそれぞれの個人の会社とか、経営者とかそういう関わりもしっかりと協議した中で、地元の中でそれがしっかりと安定するためにはこういう制度を使って、可能であれば北見市に行って借りるのもいいですし、地元の従来のお付き合いのある金融機関から借りることも、議決をいただければ、私はそれぞれの金融機関の上部へ行って、なるべく私どもとしても支出を少なくしたいので、こういう時代ですからただというわけにはいかないから、そういう部分では金利を何とか考えてほしいとか、そういう話もしっかりしてこようと思っております。

そういった中で、今回の制度をこういう形で皆様に提案して、北見市に行くこと

が可能な人は極力会議所に関わっていただいで行くのもいいですし、地元で従来どおり、今回のコロナウイルスだけの一部分だけではなくて、これからどうするか相談も含めて関わっている金融機関にしっかりと向き合ってほしいという思いも含めて、この制度を何とか皆さんにお認めいただきたいという思いでありますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（大原 昇君） 商工観光主幹。

○商工観光主幹（多田敏明君） 制度の違いの関係でありますけれども、基本的に制度は全く一致ということではございません。

特に、国の無利子無担保融資ということでは、上限等、また、金利等がありまして、例えば、設備であれば20年以内、運転資金であれば15年以内など、限度額につきましても、中小事業であれば3億円とか、国民事業であれば6,000万円であるとかという制度になっておまして、その制度を使う時には日本政策金融公庫の北見支店で制度の融資を受けるということになっております。

町の制度につきましては、日本政策金融公庫以外に町の金融機関で融資を受けた場合につきましても、利子等の補給があるということで、大きな違いがたくさんございます。

○議長（大原 昇君） 8番古館繁夫さん。

○8番（古館繁夫君） 御説明をいただきましたので理解はいたしました。

その中で、経済部がつくったであろう1枚の紙がありますが、今回の利子補給の件数を200件と考え、そして、最大限が800万円近いということですが、会議所、それから金融機関等と相談して件数を想定したというお話をいただきましたが、お話をさせていただける部分があるのであれば、金融機関と会議所等との話を教えていただきたい。

というのは、これは本当にこういうニーズが、町内で利子補給ということであるのかということを知りたいからであります。

もう1点は、町長が今3回目の後段で答弁された内容が理解できないので、もう1回説明を受けたい。

内容は、金融機関の上の者に話をします。

そして、ただではなくて、少しでもとおっしゃった意味がわからない。

もうちょっとわかりやすくお話をしてほしい。

今回の利子補給について、上の者に話をするのは結構なことですけれども、ただではよくない、少しでもというのは違う議案の話をしているのか、または違う話をしているのではないかと危惧しております。

以上です。

○議長（大原 昇君） 町長。

○町長（平野浩司君） 申しわけございません。

説明の仕方が悪いということで、今回、関わっていただく金融機関については、北洋銀行、それから北見信金、網走信金がございます。

そういった中で、従来の貸し付けるときの金利について、このような異常事態ということもあって、それぞれの銀行、それから信金等で金利等の配慮ができないかということ、例えば、網走信金であれば、美幌ではなくて網走市の本店の頭取とか、そういう方にきちんとこういう制度を美幌町でつくりましたので、少しでも協力をしていただきたいということ、きちんと御挨拶をお願いに行きたいということの思いで伝えたつもりでありますけれども、本当に説明が悪くて申しわけございません。

思いとしては、そういうことをしっかり北見なり、それから網走なりに行って、残念ながら北洋については札幌までは行かないので美幌支店になりますけれども、町としてのきちんとした対応への思いを伝えていきたいと思っておりますので、御理解よ

ろしくお願いいたします。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） ニーズというお話でございましたが、これまで制度設計に当たりまして、各金融機関、商工会議所と数度、制度設計にかかりまして協議をしたところでございます。

なかなか数をつかむというのは難しいところでございますが、各金融機関でも既に実行された件数もございます。

そういったこと、あるいは、相談を受けている件数等々も含めて、これからの件数を考えた場合、おおむね200件分を加味して計上すれば、おおむね予算としては足りるのではないかと、現在のところそういう想定のもとで計上しましたので、よろしくお願いいたします。

○議長（大原 昇君） 8番古館繁夫さん。

○8番（古館繁夫君） 経済部長、もうちょっと金融機関と話した内容をお話していただける部分があれば、もう一度話をしてください。

それと、町長、たしか町では各金融機関に預託している部分があります。

それとの連動か何かがあって、改めて金利交渉をしなくても低利でお借りできるのではないかと思うのですけれども、私が今尋ねることは全く違うということなのか、やはりお立場で、例えば網走信金、北見信金の場合には理事長が最高責任者なのだろうと思うのですけれども、そういうふうにお話するという、お願いをしなくても市中金融機関から、私ども事業をしている者にとって金利というのは、自治体が預託している部分の安い金利というのはあるのではないかと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（大原 昇君） 町長。

○町長（平野浩司君） 先ほど頭取と言いましたけれど、トップは理事長です。申しわけございません。訂正させていただきます。

す。

今お話しされたとおりだと思います。

町で預託していますから、それなりの優遇金利をしているはずなのです。

そのことも踏まえて、やはり今回、こういう状況になっていることで、それぞれの銀行がそれにまた配慮することは可能かどうかということとは私はわかりません。

ただ、町としては、少しでも困っている方に対して、余り条件とかそういうものをなしにして貸していただきたいということと、町がやはり町民の皆さんのお金をお預かりして、こういう制度で予算を組んでいるわけですので、何か銀行としても、信用金庫としても協力いただけることがないのかという思いをしっかりと伝えたいということとありますので、このことで、私が行って金利を下げてくるとか、そういうことを想定していることではありませんので、御理解いただきたいというふうに思います。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） 各金融機関とのお話の中でどんなことがということがありました、この間、制度設計に当たりまして、ざっくばらんにどんな支援制度がいいのだろうかということとお話をいただきました。

一つとしては、現在、古館議員がおっしゃったとおり、町の制度融資を拡充をして、町が制度融資として設けるという方法も一つあるかと思います。

そうではなくて、今回は先ほど町長も申し上げましたとおり、各金融機関の借入れに対して、町がその部分に対して補助金というか利子補給という形で補助金を支出することによって、迅速な対応ができるのではないかとということと、各金融機関との通常のお付き合い、それから今後の経営相談の中で、そうした中で総合的なことも含めて、今回の借入れに対して一部支援することで、そういうことまで踏み込んでいけ

るのではないかとということで今回の制度になりました。

よろしく願いいたします。

○議長（大原 昇君） 7番馬場博美さん。

○7番（馬場博美君） 私は3点について質疑をさせていただきたいと思います。

1点目は、最終的な国の対策、関係機関等が現在検討されているという中、あるいは各町村にあっては商品券、新聞報道によりますと、湧別町あるいは寿都町においても商品券ということでやっているところがあります。

そんな中で、今回美幌町がこの利子補給事業を提案することになった理由についてお聞かせいただきたいと思います。これが1点目であります。

2点目は、具体的な内容ですけれども、御説明を受けました。

最長5年間、償還利子、それから信用保証料の合計が20万円を限度として補助する考え方について具体的に説明をお願いしたいと思います。これは2点目であります。

3点目、1番大変なのは飲食業ではないかと思います。町内のある飲食店では、前年同月と比較すると2月は17.7%売り上げが減少した。あるいは、3月末ですけれども、45.5%売り上げが減少しているということとあります。

その対策として、従業員を休ませるなどして対応しているところがありますが、限界であるということとあります。

例えば、今回の利子補給事業について理解はいたしますけれども、このようなことではないとは思いますが、例えば、銀行から借入れができなかった事業所、飲食業についての対応について考え方をお聞かせいただきたいと思います。

以上、3点よろしく願いいたします。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） 2点目の20

万円の限度の考え方について御答弁させていただきたいと思っております。

繰り返しになりますが、これまで各金融機関と制度設計に当たりまして、協議を重ねてまいりました。

その中で、融資の規模としては100万円から400万円で行うことが現実的ではないかというお話でありました。

そう考えますと、月の売上げが50万円であれば、年間で600万円の売上げになり、その半年分落ち込んだとして300万円の運転資金を基本にして、制度設計をしてはどうかということをございました。

冒頭の説明の中で申し上げました利用例2でいきますと、300万円を限度とした場合、3年間は利子、保証料分は無利子の状態をつくれるということで、20万円を設定をいたしましたので、よろしく願いいたします。

○議長（大原 昇君） 町長。

○町長（平野浩司君） 1点目の経済対策についてであります。

先ほど、戸澤議員のときにもお話をさせていただきました。

今回、この制度が町民の方々に対する、会社というよりもお店をやっていただいている方に対する全ての対策という思いではありません。ある意味で対策の一つと捉えていただきたいと思います。

そういう意味では、先ほど言いましたけれど、こういう制度を早く皆さんに提案して、実際に使っていただく努力をすれば良かったと、今本当に反省をしているところであります。

今後、実質的には次の経済策、例えば町の中に人が出てきていない部分をどうするかということは、今後、皆さんにきちんと提案していきたいと思っておりますし、私も今いろいろなところからお話を聞いて、どういう形が経済の停滞を少しでも動かすことができるかということ、今うちのスタッフ

とも考えているところでありますので、御理解をいただきたいと思っております。

次に、3点目の実際に飲食店等をやっているの方々については、月収で50万円以下の方もたくさんいらっしゃいます。

そういう方々が本来であれば、月末とか年度末にいろいろ償還とか、支払いもあるので、何とかそういうの方々に対して資金を提供できるようにしたいということが今回の提案でもありますけれども、やはりそれぞれ金融機関等との協議の中では貸し渋りとか、貸さないということのないようにしていただきたいというお願いはしております。

ただ、今問題になっているのは、逆に借りたくても返せる見込みがどうかというお話をされている方もいますので、そういった中で次の経済対策とか、その中でいろいろ考えなければいけないですし、国が具体的に、例えば、何かの理由で今回の対策で従業員を休ませたりということに対して、町内のお店の従業員が休んだ場合に対象になるのかとか、そういう細部もしっかり見定めたり、協議した中で、次の経済政策をしっかり皆さんに提案して、何とか美幌町の、まずはコロナウイルスの感染が落ちつくことと、それと経済的な部分では、またにぎわいが出るように努力していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（大原 昇君） 7番馬場博美さん。

○7番（馬場博美君） 最初に1点目ですけれども、全ての対策ではないということで、今回第1弾目の経済対策だということで理解いたしました。

国の対策、道の対策、それから各町村の状況もありますけれども、何といたっても美幌町の状況がどうかということ、先ほど経済部長からありましたけれども、町内の商店街あるいは中小企業、それから商工会議所、金融機関と打ち合わせをして、

ぜひ、次の第2弾目の対策は早急に考えるべきではないかと思えます。

2点目については、目安としては100万円から400万円の間に実行がなされるということでは、パターンとしては理解できますけれども、今町長の説明にもありました、事業主によって違うところが結構あると思うのです。だから、20万円についても理解はしますけれども、さらなる検討が必要ではないかと思いました。

3点目については、町長から答弁がありましたけれども、銀行から借り入れできなかった、こういう制度ができていろいろ条件が、先ほど戸澤議員からもありましたけれども、北見市は北見市の金融公庫の借入条件があると思うのです。美幌町においてもそれぞれの銀行において借入条件がいろいろあると思うのです。

その中で、本当に困っている人が借り入れできないというようなことにならないように、ぜひ次の経済対策について考えていただきたいと思えます。

基本的な考えについては理解いたしました。

以上であります。

○議長（大原 昇君） 3番大江道男さん。

○3番（大江道男君） 今回の町単独の融資制度については、基本的には賛成をいたします。

それで、幾つかお聞きしたいのですが、私も幾つかの経営者にお聞きいたしました。個人事業主という状況ですから、非常に心配しています。自分は借り入れられないのではないかと。

その理由は、お客さんが来ないと支払えない。借りても払えないというような状況がございまして、私も同感です。長期に及ぶ可能性を持っている。

日本の場合は、きのうの段階で、PCR検査が1日1,300件程度、これは韓国やドイツなどと比べれば10分の1以下で

す。

どこでも言われているのは、検査数が進むに従って感染者が爆発的にふえているということですから、感染しているが本人の自覚がない。したがって、自由に往来している。当然分母は急速に膨れ上がっている可能性がある。日本だけが特別に感染数が少ない条件にあるとは思えない。

したがって、半年、1年で収束ができる可能性は、非常に薄いと思っていますし、業者の方々もお客は来ないという状況は、営業が続けられない可能性を持っているということなので、腰を据えた取り組みが求められているということで、一つはこの融資制度に関わって、基本的な何点かお聞きして、もう1点、関連してお聞きしたいと思います。一つは、今回据え置きが1年ということで、1年後には元金の償還が始まるということです。

政府が出している日本政策金融公庫では据え置き3年です。3年後に元金の償還が始まるということなので、非常に不安な方々にとっては、借り入れして1年後には元金の返済が始まる。無利子は助かるけれど、元金返済がそういう点で、据え置き期間の延長は可能な要素を持っているのかというのが1点です。

それと、政策金融公庫では、金利から0.9%差し引いた部分については、3年間据え置きして6,000万円までは借りられる。特別の利子補給制度も加えられると、実質利息は免除の形になっていますが、こういうものとの併用が可能なのかというのがもう1点です。

もう一つ、3点目は、手続きが煩雑では困るという、業者の声なのです。ワンストップでできないか。

銀行に行って相談して、役場に行って補助の申請をしてという形になるのだろうかということで、手続きの簡素化に関わってどうということになるのか。

4点目は、財源は基金から手当をすると

いう中身ですから、今回、コロナ対策として市町村が行う手当に対して、それは市町村独自の判断だから国は関係いたしませんとはならないだろうと思うのですが、こういう財源の手当に対して、国あるいは道などからの処置は見込めるのかどうか。ここをお伺いしたいと思います。

大きく二つ目は、今回、臨時議会が行われるということで、融資はわかりましたが、従来から税だとか、水道料金だとか、町が扱っているそういう部分について、減免や支払い猶予をぜひ検討してほしいという声もあって、その部分については、本日の臨時議会の議案には載っていないのですが、この点については、第2弾、第3弾があると思いますけれども、可能性について関連してお伺いしたいと思います。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） ただいまの御質問につきまして御答弁させていただきます。

まず、据え置き1年、国は3年だけだというお話でございましたが、私が冒頭御説明させていただいたとおり、今回の制度につきましては、町が直接制度資金を設けて、直接融資する制度ではございませんので、指定金融機関からのコロナウイルスに対する運転資金の借り入れということでございますので、それはいろんなパターンがあると思います。金融機関とのお話の中でいろいろなパターンがあると思いますので、それを問わないということで、あえて制度資金を設けておりません。

要は、迅速な融資が可能で、かつ、さまざまなメニューを選択できるというところで、それに対して町は償還利子と保証料の一部を補助しようとする制度設計でございます。

2点目、公庫との併用は可能かということではありますが、これは可能だと思いますけれども、大江議員が御心配されているとおり、併用して借りたとしても、いずれ返

さなければならないときがきますので、それは金融機関に行かれましたらそこで借りることも可能ですし、場合によっては公庫の御紹介もしていただけるということも伺っておりますので、あとは経営の中でどのような資金手当をするかというのはそれぞれ選ばれることだと思います。

併用は可能でございます。

3点目の手続の煩雑さということで、それはまさしく我々も協議の中で話しております、金融機関に行って申し込みをして、条件がそろえば町に報告をいただく、金融機関から報告をいただいて、それを年末に取りまとめて補助金を出していくというスタイルでございますので、ワンストップになるような、また役場に来てくださいということは考えてございませんので、よろしくお伺いをしたいと思います。

○議長（大原 昇君） 総務部長。

○総務部長（小室保男君） 御質問いただいた点につきまして、税の徴収猶予、こちらにつきましては総務省から既に通知が来てございます。

今回のコロナウイルス感染症の発生に伴い、納税が困難になる皆さんに対しては徴収猶予、税の徴収の猶予につきまして迅速かつ柔軟に対応しなさいという通知が来てございます。

つきましては、通常、今回の事例に関わりなく納税相談を従来から受け付けているわけでございますが、今回こういった事態になってございますので、徴収猶予の制度自体がなかなか広く知られていない部分もあるかと思っておりますので、しっかりと周知活動を行った上で適切に対応してまいりたいと考えてございます。

それからもう1点、財源的な措置です。

こちらにつきましては、今回800万円弱の補正予算の財源につきましては、まずは町の中で財政調整基金を取り崩して対応するというところで対策を打ってまいりたいと考えております。

ただ、当然、今回は国難というのでしょうか、国全体が本当に緊急的な対応を迫られているという事態でございます。

当然、政府、国においても財源的な補填措置等はあると思いますが、現時点で明確な通知等は来てございません。

ただ、地方自治体が地域の皆さんの生活を支えるためにさまざまな対策を打っていくわけでございますので、そういった必要な財源についてはしっかりと求めてまいらなければならないと考えているところでございます。

以上、よろしくお願ひいたします。

○議長（大原 昇君） 3番大江道男さん。

○3番（大江道男君） 再質問は基本的に確認です。

金融機関との関係で、据置期間の例えば1年、このペーパーでは想定していますけれど、2年あるいは3年というような話し合いの余地はあるかもしれない。町が決められているわけではないのでということで、そういう中身であるということによろしいでしょうか。

その他の点については、基本的にはわかりました。

一刻も早くコロナによる不況から脱出できるように、それぞれ努力をしていきたいと思ひます。最初の部分だけお願ひします。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） チラシに載せているのはあくまでも例でございます、大江議員のおっしゃるとおりでございます。

○議長（大原 昇君） ほかに質疑はありませんか。

13番松浦和浩さん。

○13番（松浦和浩君） 数点ほど確認といたしていきたく思ひます。

まず、今回の融資制度は金融機関の独自のお金なので、町融資の枠が、先ほど経済

部で12億円ということで枠総体があるのですけれど、今回4億4,000万円の総体の追加融資ということで、極端に言うと資金供給という意味合いでいくとマネーサプライで1.5倍になるので、資金供給はいいのかなど。

ただ、この制度を先に使ひまして、町融資のほうが今組んでいる先、要するに、現行の返済先が、国の政策で元金を据え置きなり、猶予が金融機関なり、国の政策でやりなさいといったときに、町融資の枠が減額がとまってしまうので、町融資の新規予算が足りなくなる可能性もあるのです。

その場合、当然第2案だとかの金融対策の中では、町融資の枠をふやしますと預託金、金融機関に対する保証金の預託金がふえるので、そういう部分についてもしっかりとやれるような対応が今のところ可能なかどうかというのが1点。

それともう一つ、今回、せっかく小規模企業に対してこのチラシを見まして、私は早くやるべきという考えなのですけれど、実際このチラシと美幌町の小規模企業者にどのように周知徹底するのか、また、小規模な企業もあるのですけれど、この制度でもって金融機関の審査、協会用の審査を入れますと、4月中過ぎになったら資金繰りのほうも大変になったら困りますので、これの周知徹底はどのぐらいのスピードでできるものなのかが2点目。

3点目、先ほど複数の議員が言っている第2案、第3案とありますけれど、金融対策だけでなく税金の対策、個人の収入の対策、あとは就労の正規、非正規を入れた賃金がとまっている人の対策と、これは今度、金融というよりは社会政策だと思うのですけれど、その辺も含めて、それらを統括する担当、要するに部局、あとは担当者の配置というのをきちんと行う考えがあるかどうか。

まず、お願ひします。

○議長（大原 昇君） 商工観光主幹。

○商工観光主幹（多田敏明君） 御質問の1点目でありますけれども、町の融資制度に伴います預託金の関係になります。

基本的には現在は800万円ほどの補助金の予算をいただきたいというところでありまして、今後、国の施策と相まって金融機関のほうで資金が不足するという事態がもし起こり得るということでありましたら、その際は補正予算等を計上してまいりたいと考えております。

2点目の周知についてでありますけれども、今回議決いただきましたならば、すぐにホームページに周知、また、金融機関にもチラシ等を配布して、さまざまな形でスピーディーに周知したいと考えております。

○議長（大原 昇君） 副町長。

○副町長（高崎利明君） 3点目の今後の対策の考え方、新たな職員の配置ということでございますが、そちらにつきましては現行のとおり、対策本部をそれぞれ町全体で対応しておりますので、その中で対応してまいりたいと考えておりますので、新たに職員配置ということまでは考えておりませんのでよろしく願いいたします。

○議長（大原 昇君） 13番松浦和浩さん。

○13番（松浦和浩君） 1点目の質問につきましては、現行の町融資の枠の変更対応が速やかにできれば、まだ安全かなということを確認しました。

二つ目の周知につきましては、今見ていて思ったのですけれども、業種の関係で美幌町の農業界、要するに金融機関も農業資金を出しますけれども、保証協会付はならないのですけれども、プロパーでは出しているのです。

現況では、僕ははっきり言って、ジャガイモ、タマネギ関係が今年の半分以下の金額なので、50%以上の減収になる可能性がある方々もいるのです。ほかの野菜も含めて相当落ち込んでいます。所得の数割程

度の人もいるし、主体的な数字の方もいます。

そういうところの収入が、実はダイレクトで減収になる方もいますので、そういうところも是非、JAと連携をとった形で、何か対策を打ってもらえればありがたいかなど。

そういうことで業種が書いていなかったものですから、業種について確認を取りなかったです。

最後、三つ目につきましては、コロナ対策はいろんな種類が多くて、何が起きるかわからない。

逆に、国の対策も何をどうしていいかということが、まだ決定する以前から止まっていると思うのですけれども、万が一、就業対策だとか、税金の対策だとか、今度これに関わる福祉関係の対策が出た場合、担当部署をばらばらではなくて、一本化した部署で全部ができる取り扱い、取り組みが必要だと思ったものですから、最後その辺について確認して終わります。

答弁をお願いします。

○議長（大原 昇君） 副町長。

○副町長（高崎利明君） 最後の3点目の対策の部分でございますけれども、今現在も新型コロナウイルス感染症対策本部会議ということで、各部局長が全て入った中で進めておりますので、それぞれ今後出てくる、今は感染症の拡大防止だけですけれども、今言った経済対策、そして今後出てくる雇用だとか、さまざまな部分があり得ると思いますけれども、その本部会議の中でそれぞれ御意見をいただいて進めてまいりますので、よろしく御理解のほどお願いいたします。

○議長（大原 昇君） 経済部長。

○経済部長（石澤 憲君） 農林漁業者への資金繰りの対応という御質問でございますが、農業者の方で会社とかを組織されているような方ですと、市中銀行との付き合いがある方もいらっしゃいますので、それ

はこの制度を御利用いただけたと思います。

また、農林漁業者につきましては、農水省からも資金繰り支援策が出ておりますので、それらを含めてJAとも協議してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（大原 昇君） ほかに質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大原 昇君） これで質疑を終わります。

これから、議案第24号令和2年度美幌町一般会計補正予算（第1号）についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大原 昇君） 起立多数です。

したがって、本案は、原案のとおり可決されました。

◎閉会宣告

以上で、本臨時会に付議されました案件は全部終了しました。

○議長（大原 昇君） 会議を閉じます。

これで、令和2年第2回美幌町議会臨時会を閉会します。

お疲れさまでした。

午前11時01分 閉会

美幌町議会議長

署名議員

署名議員